

私はわたし
~ LiveMotionで自分プレゼン ~

富山県立大門高等学校 江守恒明
emori@daimon-h.tym.ed.jp

情報D 授業年間計画

1 学期

ポスター制作

学習指導要領

(1) 情報のデジタル

- ネットワーク、メール、情報モラル

- 学校紹介

(2) 情報通信ネット
コミュニケーション

2 学期

ビデオ制作

(3) 情報の収集・発信

- CM研究

- CM批評、CM調査、ビデオ制作

3 学期

(4) 情報化の進展と社

- 私はわたし

- 自己表現とコミュニケーション

アニメーション制作

デジタル表現と
コミュニケーション

アニメーションの制作

「私はわたし」 **LiveMotion**で自分プレゼン

自分史を作り、自分を分析し、個性を知ったうえで、それを「うり」とした30秒の自分プレゼンアニメーションの制作

全16時間

プロセスプロダクト

プロダクト

1-2 私は誰だろうか？、こころのなりたち

3-4 自分史、小さい頃の私、人間の6つの表情

5-6 企画書、絵コンテ

7 中間発表会

8-14 作品制作 (LiveMotionで制作)

スキャナーから写真取り込み、アニメーション

15 グループの評価基準の作成

16 発表会と評価会

評価の方法 – 3つの総合評価–

(1) プロダクト（作品）

ポスター作品、ビデオ作品、アニメ作品
プレゼンテーション

(2) プロセスプロダクト(中間成果物)

ワークシート、グループの話し合いのメモ
生徒の作ったルーブリックや評価基準

(3) ペーパー試験及びスキル

考査試験、タイピング試験

生徒自身が**自分の評価**を考える場面

1学期の全体活動で。。。

自分の成長を、自分レベルで記述する

ポスター制作で。。。

他人の作品のよい点・改善点を記述する

ビデオ制作で。。。グループ活動ルーブリック作成

「グループ全体の活動」と「個人の活動」のルーブリック

アニメーション制作で。。。評価基準作成

「プレゼンテーション」と「作品」に対する評価基準

自分プレゼンは、自分を知ることから始める

心理学的アプローチ

- 私は誰だろうか (Who am I?)
- 自己評価チェック (現実自己、理想自己、他者評価)
- 自分をみつめる
- 感情をあらわす顔の表情 -6つの表情分析-



親からのアプローチ

- 自分史(出来事とメディア)

自分からのアプローチ

- 自分史の中での一冊の作品 (My Best)
- 今の私を作った3つの要因 (高校入学前の課題作文)

自分を知る

企画書

シナリオ

進行表

中間報告会 評価の観点

発表準備のワークシート評価

1. 企画書がどの程度かかかれているか (3, 2, 1)
2. 絵コンテがどの程度かかかっているか (3, 2, 1)

発表に対する評価

1. 声が大きくてわかりやすい (3, 2, 1)
2. みんなの方を向いてしゃべっている (3, 2, 1)
3. 機器の操作に慣れている (3, 2, 1)
4. 決められた時間を守っている (3, 2, 1)
5. 内容は興味深い (3, 2, 1)

点数の高い発表

点数の低い発表

学年末考査問題(抜粋)

アニメーション作品のグループ発表会において、プレゼンテーションで気をつけること2つ書きなさい。また、完成した自分や友だちの作品を評価するとき、あなたが注目する評価項目とその判断基準を5つ書きなさい。

生徒自身が**自分の評価**を考える

実際に作成したグループの評価基準

評価項目	判断基準	
アピール	自分のことを理解し、それが表現されているか。	
作品メッセージ	この作品を通して、友だちに自分の何を知って欲しいのかが分かりやすいか。	
見やすさ	文字や写真が読み取りやすい。	
品	色彩	表現したいものとマッチした色合いかどうか。
技術	自分が知らない技術などが、取り入れられている。	
プレゼン	声	大きな声ではきはきと発表している。
プレゼン	目線	しっかりとみんなの方を見て発表している。